

精密工学会北陸信越支部（富山県）

特別講演会のご案内

開催期日：2023年12月8日（金）

主催：公益社団法人精密工学会北陸信越支部

共催：富山県立大学 DX 教育研究センター

日時：2023年12月8日（金）15:30-16:50

開催方式：会場での対面のみ

場所：富山県立大学 射水キャンパス DX 教育研究センター
〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

申込締切：2023年12月1日（金）

定員：50名

参加費：無料

■講演テーマ

「最新の非接触三次元表面性状測定法と評価技術」

■講師

MATE（Metrology and Astronomical Technology Engineerin）

三浦 勝弘 氏（元 三鷹光器株式会社）

■講演概要

製品の小型化高精度化が求められている昨今、三次元表面性状の測定法及び評価方法の新しい規格が JIS から出版された（JIS B0681）。三次元表面性状測定法は非接触測定法が主流であるが、測定条件の違いにより値が大きく異なることがあり、測定原理を良く理解して用いる必要がある。本講演では JIS（ISO）規格にて提案されている各測定法と評価方法を測定事例用いて解りやすく解説する。

■講師略歴

1982年 三鷹光器株式会社に入社。オートフォーカス法を用いた三次元測定機の製品化に成功し、ISO に提案。2008年に「ポイントオートフォーカスプローブ法（ISO 25178-605）」が出版。2008年より ISO TC213 国内対策委員，JIS 原案作成

委員。他にも月周回衛星「かぐや」のプラズマイメージャとプラズマ観測器の設計製作や極端紫外線リソグラフィ（EUVL）の研究開発に従事。2021年に三鷹光器を退職，同年，MATE（Metrology and Astronomical Technology Engineering）を立ち上げ，2023年には精密工学関連分野における研究・技術・教育に関する革新的な功績が認められ精密工学会賞を受賞。現在も精密工学発展のために活動中。中学校の教科書にも掲載されたヘールボップ彗星写真など天体写真家としても活躍。

■プログラム

15:00-16:10 講演会

16:15-16:35 非接触輪郭形状測定機 NH-3 見学

16:35-16:50 名刺交換会

■申込み方法

お申し込みは，Google フォーム (<https://forms.gle/TAVQs7DQfjSUjq8P6>) でお受けいたします。ただし，定員に達し次第，申し込みを締め切ります。お早めの参加申込みをお願いします。

■問い合わせ先

富山県立大学工学部知能ロボット工学科 岩井学

E-mail: iwai@pu-toyama.ac.jp

Tel: 0766-56-7500（内線 1393）